

**日本写真測量学会平成29年度秋季学術講演会
プログラム**

共催：国立大学法人山口大学
後援：国土交通省中国地方整備局、公益社団法人土木学会中国支部

開催日時：

平成29年11月9日(木) 9時45分～18時35分
17時35分～18時35分 特別講演「災害から一人でも多くの人の命を救いたい ～リモートセンシングへの期待～」三浦 房紀 氏 (山口大学副学長/山口大学応用衛星リモートセンシング研究センター長)
19時00分～21時00分 懇親会 会場：ANAクラウンプラザホテル宇部 参加費 5,000円(学生4,000円)
11月10日(金) 9時30分～17時30分
11月11日(土) 巡検 8時30分 ANAクラウンプラザホテル宇部 集合/8時40分出発

巡検コース：山口大学応用衛星リモートセンシング研究センター → JAXA西日本衛星防災利用研究センター → 昼食 → UBE-i-Plaza → 宇部興産トレーラー整備場
→宇部興産伊佐セメント工場(石灰石鉱山) → 山口宇部空港(17:00頃解散予定)
巡検参加費：3,500円(バス代、昼食、入場料込み)

開催場所：

宇部市文化会館(講演会場・展示会場)
〒755-0041 山口県宇部市朝日町8番1号
電話：0836-31-7373 FAX：0836-31-7306
URL：http://www.city.ube.yamaguchi.jp/koukyouannai/bunkakyouiku/bunkakaikan/
会場：展示室2、研修ホール、展示室3(講演会場・展示会場)

学会参加費(論文集代含む)：会員 5,000円、非会員 7,000円、学生3,500円(会員・非会員共)

9:45 - 10:10

第1日目 11月9日(木)

開会のあいさつ 会長 近津 博文
あいさつ 進士 正人(山口大学工学部長)

| 第1会場(1階 展示室2) | | 司会：坂元光輝(パスコ) |
|---------------|-----|--|
| セッションA MMS | A-1 | 航空写真測量を用いたMMS点群データの調整について ○松本 直樹・大上 岳彦・謝花 達磨(アジア航測)・その他1名 |
| | A-2 | 車載型モバイルマッピングシステムによる全方位画像を用いた大縮尺地形図点検手法の評価 ○村木 達弥・中西 芳彦・小野 恵(国際航業)・その他1名 |
| | A-3 | MMS点群からの柱状物体の抽出 ○四俣 徹・チャタクリ スバス・馬河 紘子(パスコ)・その他3名 |
| | A-4 | MMS 3次元点群を用いた路面標示の自動化 ○馬河 紘子・チャタクリ スバス・佐々木 光(パスコ)・その他3名 |

| 第2会場(2階 研修ホール) | | 司会：森山雅雄(長崎大学) |
|---------------------------|-----|---|
| セッションD リモートセンシング(土地利用・農業) | D-1 | 多重分類器システムを応用したごま塩状の誤分類を低減させる分類手法の検討 ○平山 英毅・富田 瑞樹・原 慶太郎(東京情報大学) |
| | D-2 | Analyzing the impact of snowmelt timing on grassland green-up dates in the European Alps using webcams ○Anudari Batsaikhan・Christopher Conrad(Julius-Maximilians-University Würzburg)・Sarah Asam(EURAC Research)・その他1名 |
| | D-3 | リモートセンシングによる水稻営農支援システムのための推定モデル構築 ○小田川 信哉・奥村 俊夫(RESTEC) |
| | D-4 | Modeling Urban Growth Using Machine learning ○Kamara Gombe・浅沼 市男・朴 鍾杰(東京情報大学) |

11:35 - 11:45

休憩

| ベンダーフォーラム | | 司会：中西芳彦(国際航業) |
|---|--|---------------|
| 1. リーグルジャパン(株)「RIEGLレーザーキャニングシステム最新情報」/2. 日本インターグラフ(株)「日本インターグラフ Hexagon Geospatialの最新製品情報」/3. ライカジオシステムズ(株)「ライカの動体計測システム」/4. 朝日航洋(株)「堤防維持管理の高度化～除草しながら変状箇所を取得する計測システム、CalSok～」/他 (順不同) | | |

12:55 - 13:55

昼食

| セッションB レーザ計測 | | 司会：高橋元気(国際航業) |
|--------------|-----|---|
| | B-1 | 都市内の曲面点群の自動位置あわせ手法の開発 ○日下部 哲・須崎 純一(京都大学) |
| | B-2 | UAVレーザーデータを用いた詳細な林相判読の試み ○近藤 大将・大野 勝正(アジア航測) |
| | B-3 | UAV搭載型レーザーキャナのマルチチャンネルの特性に関する検討 ○中野 一也・鈴木 英夫・大森 康至(朝日航洋)・その他1名 |
| | B-4 | UAVレーザー測定の精度検証と有効性について ○川村 義和・西村 芳夫・西野 克明(アスコ大東) |
| | B-5 | 高密度のレーザー計測データを用いた樹木本数推定の比較 ○柄澤 孝和・大野 勝正(アジア航測) |

| セッションE リモートセンシング(森林) | | 司会：小田川信哉(RESTEC) |
|----------------------|-----|---|
| | E-1 | 3次元点群データを用いたLiDAR波形再現についての研究 ○田中 美津紀・本多 嘉明・梶原 康司(千葉大学) |
| | E-2 | 地上LiDARとUAVによる林内3次元点群を用いた林分構造パラメータの抽出に関する研究 ○田中 貴大・本多 嘉明・梶原 康司(千葉大学) |
| | E-3 | 樹冠内Rubisco量分布の把握における分光特性の活用 ○三浦 雄太・園部 礼・王 権(静岡大学) |
| | E-4 | GCOM-C/SGLI陸域アルベドプロダクト作成を目的とした地形の影響を考慮したBRDFモデルの開発 ○宮垣 亮汰・須崎 純一・金 農業(京都大学)・その他1名 |
| | E-5 | Examining land cover change from 2000 to 2014 in Foret Classee de la Mondah using landsat imagery ○Mariano Mboumba・浅沼 市男・原 慶太郎(東京情報大学) |

15:35 - 15:45

休憩

| セッションC UAV | | 司会：梶原康司(千葉大学) |
|------------|-----|--|
| | C-1 | 平成29年7月九州北部豪雨の災害調査におけるUAVの活用事例 ○小室 隆・赤松 良久・乾 隆帝(山口大学)・その他2名 |
| | C-2 | 森林資源情報の更新を目的としたUAV写真計測による単木抽出の検討 ○北林 拓・大野 勝正・大西 満信(アジア航測) |
| | C-3 | UAV空撮画像を用いた赤谷川下流における平成29年7月九州北部豪雨後の堆積土量推定 ○白水 元・朝位 孝二(山口大学) |
| | C-4 | UAVリモートセンシングと気象データの統合に基づく水稲の収量およびタンパク含有率の推定 ○濱 侃(千葉大学)・田中 圭(日本地図センター)・望月 篤(千葉県農林総合研究センター)・その他2名 |
| | C-5 | UAV写真測量における標定点(GCP)の節減策に関する検討 ○神野 有生・I GD Yudha Partama・志賀 有里子(山口大学)・その他3名 |

| セッションF リモートセンシング(SAR) | | 司会：浅沼市男(東京情報大学) |
|-----------------------|-----|---|
| | F-1 | 時系列TerraSAR-X画像を用いた建造物の抜け上がりの検知 ○辻野 雅博・須崎 純一(京都大学) |
| | F-2 | 上昇・下降軌道のSAR画像を用いたPSIによる地盤沈下解析 ○伊藤 大生・須崎 純一(京都大学) |
| | F-3 | 圃場の作物分類におけるX、CバンドSAR画像の比較 ○山谷 祐貴(北海道大学)・園部 礼(静岡大学)・谷 宏(北海道大学)・その他3名 |
| | F-4 | InSARとGNSSによる時空間切れ目のない地盤変位計測の実現 ○清水 則一・Nguyen Trung Kien・Putu Edi Yastika(山口大学)・その他2名 |
| | F-5 | 差分干涉合成開口レーダー(D-InSAR)を用いた平成28年熊本地震における液状化被災状況の抽出に関する ○佐々木 翔太・多田 愛・P.E. Yastika(山口大学)・その他3名 |

17:25 - 17:35

休憩

| 特別講演 | | 司会：望月貴一郎(パスコ) |
|---|--|---------------|
| 題目：「災害から一人でも多くの人の命を救いたい ～リモートセンシングへの期待～」 講師：三浦 房紀 氏 (山口大学副学長/山口大学応用衛星リモートセンシング研究センター長) | | |

18:35 - 19:00

移動

19:00 - 21:00 懇親会 会場：ANAクラウンプラザホテル宇部
会費：5,000円(学生 4,000円)

第2日目 11月10日(金)

| 第1会場 (1階 展示室2) | | |
|--------------------------------------|-----|--|
| セッションG i-Construction 司会：池田隆博 (日本大学) | | |
| 9:30 - 9:50 | G-1 | i-ConstructionのためのMMSによる3次元計測データの精度検証 ○白石 宗一郎・中野 一也・大伴 真吾(朝日航洋)・その他3名 |
| 9:50 - 10:10 | G-2 | 阿蘇大橋地区斜面崩壊対策工事におけるUAV写真計測の活用事例 堀川 毅信・鳥田 英司・○矢倉 聖哉(国際航業)・その他2名 |
| 10:10 - 10:30 | G-3 | MMSによるトンネル出来形管理への適用検証 ○井関 禎之・其阿彌 大祐・五十嵐 善一(パスコ)・その他4名 |
| 10:30 - 10:50 | G-4 | 小型マルチコプターを活用したアンカー工の目視点検 櫻井 宏樹・阪元 恵一郎・○佐藤 信光(水資源機構) |
| 10:50 - 11:10 | G-5 | 大型除草機搭載型レーザスキャナを用いた河川堤防モニタリングシステムについて ○杉山 史典・鈴木 清・民野 孝臣(朝日航洋)・その他2名 |

11:10 - 11:20

休憩

| セッションH 空間情報 (アルゴリズム) | | |
|----------------------|-----|---|
| 司会：織田和夫 (アジア航測) | | |
| 11:20 - 11:40 | H-1 | 車載パノラマカメラ画像を用いたFaster R-CNNによる一般物体認識の検討 ○林 雨亭・武田 浩志・鈴木 久美子(国際航業)・その他2名 |
| 11:40 - 12:00 | H-2 | 単写真からの画像ブレ検出手法の検討 ○久原 千賀子(朝日航洋)・近津 博文(東京電機大学) |
| 12:00 - 12:20 | H-3 | 存在範囲に着目したベクトル図形の圧縮手法に関する研究 ○坂元 光輝・佐藤 俊明(パスコ) |
| 12:20 - 12:40 | H-4 | GNSS測位の搬送波位相積算値を用いたマルチパス判別手法の有効性と課題 ○池田 隆博(日本大学) |

12:40 - 13:40

昼食

| セッションI 写真測量・画像計測 | | |
|------------------|-----|--|
| 司会：杉山史典 (朝日航洋) | | |
| 13:40 - 14:00 | I-1 | フィルト・シフトレンズを用いたシャインブルーフカメラのキャリブレーション手法に関する研究 ○石川 諒人・近津 博文(東京電機大学) |
| 14:00 - 14:20 | I-2 | 基線情報によるSfM処理におけるスケール付与方法の検討 ○高橋 元気・武田 浩志・中村 和弘(国際航業) |
| 14:20 - 14:40 | I-3 | レンズ歪み補正機能を利用した三次元計測に関する研究 ○柳 秀治(日本測量協会)・近津 博文(東京電機大学) |
| 14:40 - 15:00 | I-4 | 広域・低分解能画像群と局所・高分解能画像群を入力データとしたSfM/MVS処理の効率化 ○中川 雅史・三輪 恵一・野末 翔也(芝浦工業大学)・その他4名 |
| 15:00 - 15:20 | I-5 | 松田町UAVテストサイトを用いた地上基準点の配置が3次元形状復元の精度に与える影響について ○高橋 洋二・垣内 力(朝日航洋)・近津 博文(東京電機大学) |

15:20 - 15:30

休憩

| セッションJ 災害・防災 | | |
|-----------------|-----|--|
| 司会：柳秀治 (日本測量協会) | | |
| 15:30 - 15:50 | J-1 | GPS変位計測によるフィルダム堤体の動態観測 ○中島 伸一郎・須磨 優樹・清水 則一(山口大学)・その他2名 |
| 15:50 - 16:10 | J-2 | 深層学習と赤色立体地図を用いた土砂災害リスク地形自動抽出手法の検討 ○高遠 (高山) 陶子・濱田 耕平・織田 和夫(アジア航測)・その他2名 |
| 16:10 - 16:30 | J-3 | スコリア堆積斜面のモニタリングにおける航空レーザ計測とドローン写真測量の活用 ○前田 修(静岡県小山町)・笠 けやき(中日本航空株式会社)・露木 順一(日本大学) |
| 16:30 - 16:50 | J-4 | 高感度汎用カメラ映像を用いた夜間写真測量への検討 ○杉森 純子(朝日航洋)・近津 博文(東京電機大学) |
| 16:50 - 17:10 | J-5 | 点群レジストレーションにおける高さ強調による効果に関する研究 ○服部 聡子・織田 和夫・高山 陶子(アジア航測)・その他1名 |

17:10 - 17:30

閉会のあいさつ

| 第2会場 (2階 研修ホール) | | |
|---|-----|---|
| セッションK リモートセンシング (アルゴリズム) 司会：赤塚慎 (高知工科大学) | | |
| 9:30 - 9:50 | K-1 | 植生指標を利用した樹木の生育評価 ○笹原 弘道・徳永 光晴(金沢工業大学) |
| 9:50 - 10:10 | K-2 | ひまわり8号AHIを用いた地表面温度推定アルゴリズム ○森山 雅雄(長崎大学) |
| 10:10 - 10:30 | K-3 | フラックスサイトでの長波放射観測データを用いた地表面温度プロダクトの検証 岡部 嘉輝・○森山 雅雄・稲吉 寿明(長崎大学) |
| 10:30 - 10:50 | K-4 | ALOS/PRISM画像のRPCモデルに含まれるバイアス項の自動推定手法の開発 ○須崎 純一(京都大学)・岸本 秀真(東京電力ホールディングス)・田殿 武雄(宇宙航空研究開発) |
| 10:50 - 11:10 | K-5 | Evaluation of multi-source satellite datasets for countrywide vegetation classification and mapping ○Ram C. Sharma・Keitarou Hara(Tokyo University of Information Sciences) |

| セッションL 地域計画・文化財 | | |
|-----------------|-----|--|
| 司会：須崎純一 (京都大学) | | |
| 11:20 - 11:40 | L-1 | 奈良における時空間情報を活用した景観把握 ○大崎 雄治・吉川 真・田中 一成(大阪工業大学) |
| 11:40 - 12:00 | L-2 | 地名と地形の関係からみる防災について ○丸山 誠・史 中超(京都市大学) |
| 12:00 - 12:20 | L-3 | 札幌の町割と大友亀太郎 ○井上 三男(郷土史家) |
| 12:20 - 12:40 | L-4 | 長野県の中山間地域におけるドローンの活用事例 ○荒井 克人(ラポーザ)・松下 英次(長野工業高等専門学校) |

| セッションM 航空レーザ | | |
|---------------|-----|--|
| 司会：李勇鶴 (パスコ) | | |
| 13:40 - 14:00 | M-1 | 2時期の航空レーザ計測データによる森林資源解析と経年変化の検証 ○板谷 洋輔・柄澤 孝和・大野 勝正(アジア航測) |
| 14:00 - 14:20 | M-2 | ALBレーザの解析パラメータ設定事例 ○藤田 温斗・畠 周平・藤井 紀綱(アジア航測)・その他3名 |
| 14:20 - 14:40 | M-3 | ALB (航空レーザ測深機) による河床把握に関する検討 ○鈴木 裕三・森本 洋一・角埜 嵩文(朝日航洋) |
| 14:40 - 15:00 | M-4 | 航空レーザ測深 (ALB) による河川測量の事例紹介 ○金田 真一・戸村 健太郎・貫村 昂士(アジア航測) |
| 15:00 - 15:20 | M-5 | 県管理河川における航空レーザ測深機 (ALB) の精度検証 ○井田 憲吾・塚田真之・石田覚(国際航業)・その他2名 |

| セッションN リモートセンシング (応用) | | |
|---------------------------|-----|--|
| 司会：郭栄珠 (土木研ICHARM-UNESCO) | | |
| 15:30 - 15:50 | N-1 | 分光反射特性に基づくチャ(Camellia sinensis)生葉におけるカロテノイド量の推定 ○蘭部 礼・三浦 雄太(静岡大学)・佐野 智人(農業・食品産業技術総合研究機構)・その他1名 |
| 15:50 - 16:10 | N-2 | トンレサップ湖面におけるMODIS分光反射率の長期的変動 ○星川 圭介(富山県立大学)・藤原 洋一(石川県立大学)・藤井 秀人(山形大学)・その他1名 |
| 16:10 - 16:30 | N-3 | DNBデータによる造礁活動の解析について ○浅沼 市男・山口 崇・朴 鍾杰(東京情報大学)・その他1名 |
| 16:30 - 16:50 | N-4 | ひまわり8号全球データ雲マスクの作成 ○赤塚 慎(高知工科大学)・竹内 渉(東京大学)・高木 方隆(高知工科大学) |
| 16:50 - 17:10 | N-5 | 複数時系列データによる広域洪水リスクマップ作成に向けたSynchronized Floodwater Index ○郭 栄珠(土木研ICHARM-UNESCO)・朴 鍾杰(東京情報大学)・伊藤 弘之(土木研ICHARM-UNESCO)・その他1名 |

副会長 清水 英範